

平成 29 年 3 月 24 日

「情報科学部」の設置(申請中)

【概要】

広島大学は、平成 30 年 4 月に 12 番目の学部として、データサイエンスとインフォマティクス（情報学）に関する高次元な素養を体系的・統合的に備え、さまざまな分野における個別の課題例にも精通した人材を育成する「情報科学部」を設置予定です。

学科は情報科学科の 1 学科で、「データサイエンスコース」と「インフォマティクスコース」の 2 つの履修コースを設けます。前者は、統計学をベースとしたデータ解析に重きを置き、高次元かつ大量のデータを的確に分析する能力を持つ人材育成を、後者はコンピュータ、情報処理、情報システム、情報数理等を含めた情報学全般を幅広く統合した知識を身に付けた高度情報化社会を支えるエンジニアの育成を目指しています。

入学定員は 1 年次 80 人、3 年次編入学定員 5 人で、収容定員は 330 人です。

また、情報科学部を広島大学におけるデータサイエンスとインフォマティクス教育の中核ハブと位置付け、情報科学部が開講する授業科目を全学へ提供し、データサイエンスとインフォマティクスの汎用性を全学的に浸透させ、大学全体の機能強化に結び付け、我が国の情報教育に貢献しようとするものです。

【背景】

急速なグローバル化に伴い経済・社会・環境の複雑化が進展するなかで、我が国の国際的優位性・競争力を維持・向上するためには、さまざまな組織において自ら課題を発見し解決する能力を有する人材が不可欠となっています。また急速な情報化が進むなかで、「ビッグデータ」等の膨大な情報・データを効率的に処理分析し、エビデンスに基づいた組織戦略及び立案を担える人材の養成が喫緊の課題となっています。さらにデータに基づく科学的な思考の訓練によって獲得された高度なデータ処理及び分析能力を有する人材は、国内外の企業組織のみならず、政府等公的機関、初中高等教育機関、非営利組織、シンクタンク等においても強く求められています。

具体的には、

- ・データ・情報に焦点を当てて物事を分析・解決するデータサイエンスは、汎用性が高く、様々な分野でニーズがあります。
- ・放射線災害や気象変動のような全地球規模の問題解決や、ゲノム配列、消費者行動分析に代表されるビッグデータの処理・解析などに対しては、複合的に絡み合う社会的ニーズや課題を俯瞰し、領域横断的な解決策を探ることが求められます。
- ・分析対象となるデータ・情報を処理するためにインフォマティクスに関する素養が必

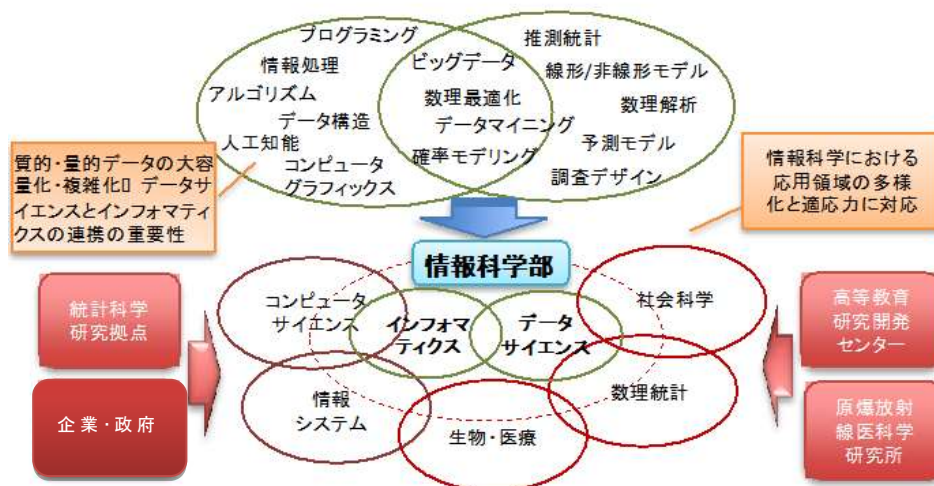
須です。

このように、データサイエンスとインフォマティクスを体系的・統合的に扱うことができる人材が求められていますが、我が国には学部レベルでそのような教育組織はなく、既存の学部学科の専門領域に分散して行われています。

本学はこれらの社会的・学術的ニーズに応え、新学部を設置します。

【コンセプト・特徴】

・学部レベルのデータサイエンスとインフォマティクスの体系的・統合的教育組織です。



【学びの特色】

- ・「データサイエンスコース」と「インフォマティクスコース」の2コース制（3年次にコース分け）
- ・国際社会でグローバルに活躍するための基本的素養・能力の修得
- ・両コース共通の基盤となる知識と技能の修得
- ・グローバル化が進む社会で活躍できる能力の修得
- ・ビッグデータや高次元データを含む多様な質的量的データの処理分析技術の修得
- ・データサイエンスコース：データ分析の基盤となる技術を修得
- ・インフォマティクスコース：今日の高度情報化社会を支える高度な情報処理技術を修得

【どのような人材を養成するのか】

「今日の高度情報化社会の基盤を支えるシステムエンジニア」としての能力と、「ITコンサルティングやデータ分析も可能な情報サービスアナリスト」としての能力を獲得したハイブリッド人材を養成します。また、近年のビッグデータの集積、人工知能(AI)におけるブレイクスルー、IoTの発展等に伴って複雑化かつ膨大化した情報を適切に管理し、処理分析できる能力を身に付けます。

【入学者選抜の特徴】

文系・理系に関わらずアドミッションポリシーに沿った人材を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協調性などの重点評価項目に基づき選抜します。

【想定される進路】

- ・ 情報データの大容量化・複雑化に伴うハード（機器）とソフト（プログラミング／ソフトウェア）の技術開発を支える民間企業（情報機器開発、システム開発、サービスソリューション等）のデータサイエンティストやシステムエンジニア
 - ・ ソリューションサービス産業、金融、保険、マーケティング、小売業、生産・品質管理などのソリューション系エンジニア及びアナリスト、サーバ・ストレージエンジニア、ソーシャルアプリケーションプロバイダ、ITコンサルタント、Webデザイナー、アプリケーションエンジニア
 - ・ 製造業・金融・IT・医療・製薬・教育・サービス等の産業界に貢献するデータアナリスト、情報サービスアナリスト、民間及び公共機関の研究所等でのリサーチ・アソシエイト等、データ分析のスペシャリスト
 - ・ 高等学校教諭（情報・数学）
 - ・ 大学院への進学
- など

上記の内容については申請中であり、今後変更する場合があります。